



神中だより

No. 5 令和7年9月30日 京都市立神川中学校 校長

心を磨き、未来へと向かい、

自らやり抜く生徒の育成

～ 絆・夢・力～

Email : kamikawa-c@edu.kyoto.city.jp

10月の予定

日	曜	予定	日	曜	予定
1	水	おいでよ週間(～9日)	16	木	
2	木	教育相談 進路懇談①	17	金	体育祭
3	金	教育相談 進路懇談②	18	土	
4	土		19	日	
5	日		20	月	体育祭予備日
6	月	教育相談 進路懇談③	21	火	
7	火	教育相談 進路懇談④	22	水	
8	水	進路懇談⑤	23	木	
9	木		24	金	
10	金	学習確認プログラム(全学年)	25	土	
11	土		26	日	
12	日		27	月	
13	月		28	火	1年生合唱コンクール(午後)
14	火	後期時間割開始 部活冬時間	29	水	2, 3年生合唱コンクール
15	水	体育祭予行	30	木	

「常識なんて幻かも」

先日ふと、わが子が「スマホがないとやばいやつてたん?」と、とても漠然とした質問をしてきました。具体的な場面を指摘されたわけでもなかつたので、「なんとかなつてた」と、これも漠然とした返答をしたわけですが、実際になんとかなつていきました。カーナビのなかつた時代は道路地図を調べていました。連絡方法にメールやテキストメッセージなどはありませんでした。

通信方法の進化はとても便利な世の中に変えてくれました。特にインターネットが社会の高速化に果たした役割はとても大きいです。反面、恩苦しさを感じてしまつ「ともありませんか?

私が運転免許を取得したJHはMT免許が当たり前で、AT限定免許は少し下に見られていました。でも販売している車のほぼ全部がATとなつてるので現在、MT免許を持つ意味が薄れてきて、教習所でもAT免許が標準でMTはオプション扱いになるようになります。私は未だにMT車に乗つていますが、変人扱いされそうです。変人なりに言わせてもらひますと、みんながMT車に乗れば、ペダル踏み間違いの事故がかなり減ると確信しています。

ネットも車も便利さを追求するあまり、失つてしまつたものも大きいと思ひるのは、加齢のせいかもしれません。

子供のJHは学習する順序が決まつていて、それに乗つかるだけでなんとかなりました。でも今の子供には多くの選択肢が与えられていました。

て、それを選ぶだけでも大変な労力です。字を書くことを見ても、手書き→キーボード入力→フリック入力→音声入力と、矢印の順序で便利になっています。そして私たち世代はこの順序で字を書く作業を覚えてきています。

その昔、リキッドペーパーという修正液があつたことを憶えています。やる方は少数派です。キーボードよりフリックの方が便利と思う人が多いらしいです。また、アプリの進化で音声入力でも誤変換の確率が飛躍的に減っています。文章を書くという概念も変わってきていますね。書くという手を使った作業が、しゃべるという作業に取って替わられている状況です。音声入力は障がいのある人にとっては、福音です。ユーバーサルデザインは全ての人には有益です。これから入力の主

役は音声となつていて、ビデオもつ。

書字を苦手としている生徒がいるなり、これが音声入力でもかまわないと感じた。最近考えたようになりました。以前の価値観なり、手書きをついに始めた」とからこそだわつていたところですが、デバイスの進化とともに価値観も変わつていくものなのだと思つます。

価値観の変化で云つと学校へ通つての常識も変わつたものではないかと思つます。不登校と聞くと、とてもネガティブな印象を受けると云つのが現在の価値観ではあるでしようが、不登校も一つの選択肢と捉えると見方が変わつてくるのではないでしようか。

学びの場は、学校だけに限定されません。通信環境の整つた現代は、

どにしても情報にアクセスでき、学習もできます。大人が価値観を変えなければ、いつまでたっても不登校は選択肢の一つにはならないでしょう。

通信制高校への入学者が、京都府で7から80%になつてゐるところです。中学校でもオンライン・スクールなどができています。学校といつ場で集団生活に恩苦しさを感じて、学習に支障をきたしてゐるなら、思つ切つて環境を変えるのも一つではなじでしようか？

価値観や常識をアップデートしつつ、学校教育も変わつていかなければなりません。そのためにも私たち大人が学び続けることが大切です。学び、考え続け、生徒たちに有益な教育活動を提供できるようになつてこります。忌憚のない意見を頂戴したいと存じます。

朝晩は涼しげなつむぎもした。「～の秋」をお楽しみください。
最近、昔のマンガを古の張り出しへ読んでいます。「MASTER
KEATON(マスター・キーテン)」は、やつぱつ名作です。
今号も、だいだいと繋がり連ねてしました。最後までお読みこた
だやねうがと、じるぎこもす。